

JREU 青森支部情報

発行 第 25 号
発行責任者 昆野彰夫
編集 情宣部
発行日 2020年1月31日
青森県青森市柳川1丁目2-74

東京・八王子・水戸の3地本の一部の職場で分裂策動！？

青森支部は組織分裂する行為を絶対に許さない！

本部は1月23日、「組合員の雇用と利益を守る新生 JR 東労組に対し、分裂策動を行う者たちを許さない 1・23 見解」を発出しました。私たちは 18 春闘を「大敗北」と総括し、これまでの運動を反省すると共に、組合員の声を受け止める新生 JR 東労組運動を創り出してきました。そんな中、東京、八王子、水戸地本内の一部の職場にて新生 JR 東労組運動と決別する分裂策動が報告されています。ある職場では「JR 東労組に残るのか？ 分裂組織に行くのか？ 組合を辞めるか？」の選択を迫られている報告がされているようです。職場の組合員からは「緑の風も職場討議資料も配布されない、本部の情報も掲示されない」「どうしていいのかわからない」「割れてほしくない」「これから施策を担うのに協約が無くなってしまふから行きたくない」などの混乱の声が届いています。青森支部はこのような分裂策動を絶対に許さない！

本部見解発出以降、各地本、青年部や JR 総連各単組からも見解が発出されています。その中でも長野地本の見解文を一部紹介します。

私たちは過去の歴史に学び、それを自らのものとし、活かしていくことの重要性を十分理解している。その重要性は、これまでのJR東労組運動を通じて学んできた筈である。長野地本が歩んできた事実を他人事として捉え、組織分裂を画策する者は、過去の歴史に学ぶ重要性を全く理解していない。そのことは自らの力に奢り、過去の歴史に学ばない現政権と同じであり、組織分裂を画策する者たちは、それらを批判する資格すらない。

組織分裂を画策している者たちに伝えたい。JR東労組と袂を分かち、その新組織に大勢の組合員が賛同すると思っているとすれば、それは大きな間違いである。13年前の長野地本組合員がそうであった様に、現場の組合員たちは自分たちが思っている以上に物事と情勢を分析し冷静に考えている。多くの組合員が新組織に加入するという目論見は誤った幻想である。改めて考え直して欲しい。組織分裂の先にあるのは「明るく照らされた道」ではなく「真つ暗な茨の道」である。組織分裂という選択により多くの組合員とその家族が不幸になる。過去に私たちが歩んできた道を誰にも経験させたくはない。

今一度述べる。「組織分裂で幸福になる者など誰もいない」

組織破壊を許さないたたかいを創り出そう！

他にも情報が欲しい！という方は、「東北三地本」で今すぐ検索♪
もしくは、右のQRコードから気軽にアクセス☆ →→→→→→→→



東日本旅客鉄道労働組合 東北三地本
East Japan Railway Workers' Union
AKITA MORIOKA SENDAI JR BUS-TOHOKU